

IPv6による学校運営システム

近年、学校教育に関する問題が多く見られます。特に小中学生を狙った犯罪なども多くなってきました。そんな中で学生の保護者は子どもが心配になるでしょう。そんな不安を少しでも和らげることの出来ればよいと思います。

また、授業時間数の減少による学力低下や人間性教育等の必要性など過去にはなかった新たな問題が多々出てきました。そんな新しい問題を少しでも緩和できるようなシステムがあると良いと思います。そのために子ども一人一人が自分の端末を持つことと各家庭にPCを用意する必要があり、これをIPv6で実現できれば良いと考えます。

▼ IPv6による学校運営システムにあると良いもの（例）

①授業の様子を保護者に公開

自分の子どもが通う学校の授業風景を歩小屋が見られるようにします。自分の子どもが現在どのような授業を受けているのかを知る対親にとってはかなり有益です。また、子供の様子を見ることができるので安心できます。



②通学时位置情報確認

近年学生の通学時に学生をターゲットにした犯罪が増えています。保護者は通学時の子どもの現在位置を確認できるようにします。これにより親は安心することができる上、防犯対策に有用です。



③生徒の出席情報を簡単チェック

教師は生徒の出席情報を瞬時に把握することが出来るようになるので出席チェック時間の短縮になります。休む日の事前連絡の有無などのチェックも簡単に行うことが出来ます。



④他校の生徒とコミュニケーション

学校に設置されたパソコンで他校の生徒とのコミュニケーションが行えるようにします。生徒の数の少ない山村等の学校の生徒にとっては多くの同世代の仲間と知り合えるチャンスになります。

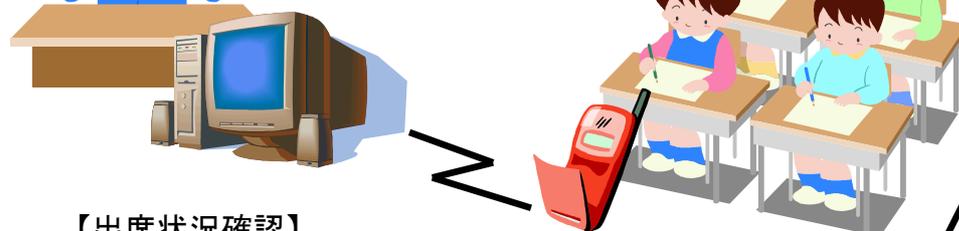


IPv6による学校運営システム導入の一例

【他校の生徒とコミュニケーション】
学校のパソコンで他校の生徒とコミュニケーションが可能。自分が持っている端末をパソコンに接続してデータ交換も可能。



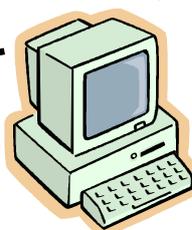
【授業の様子を公開】
教室に取り付けられたカメラにより授業の様子を確認することができる。



【出席状況確認】
生徒一人一人が持っている端末からの出席状況を瞬時に確認できる。



【通学時位置情報確認】
GPS情報などにより子ども
の現在地を把握できる。



保護者

